

# 公益財団法人日本刀文化振興協会

平成25年度事業計画

(平成24年12月1日～平成25年度11月30日)

## 1. 公益目的事業

(1) 第4回新作日本刀・刀職技術展覧会(主催)〈公4〉

会期:平成25年6月8日～7月21日(予定)

会場:東京虎ノ門 大倉集古館 公益財団法人大倉文化財団大倉集古館(共催)

後援:経済産業省、文化庁

授賞:経済産業大臣賞(作刀)、経済産業省局長賞(刀装具)、文化庁長官賞他を申請

助成:日本財団宛申請

内容:作刀・調金・研磨・刀装等日本刀に係る全ての伝統技術を対象に作品を公募し、厳正な審査を実施、優れた技術を顕彰し、高水準のコンクールとする。

更に、受賞作品を展覧すると共に、作品集やホームページにて広報し、現代の高い技術と日本刀文化をアピールする。

神宮(伊勢)から所蔵物を借用し、展示を図る。

(予定)作品受付:平成25年4月15日～18日、審査会4月24～26日、内覧会・授賞式6月7日

(2) 第6回刀職者実技研修会〈公1〉

会期:平成25年8月下旬(予定)の3日間

会場:長野県坂城町中心市街地コミュニティセンター

研修生:5職種各6～8名計約35名を予定 参加料5,000円/日(予定)

助成:文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」他を申請

内容:日本刀に係る伝統技術の内、刀身作成・研磨・拵下地・金具作成・柄巻きの5職種を対象に、高度の専門職方を育成する為の技術・知識・意識教育。

同時に講習の妨げにならない範囲で一般に公開し、日本刀及びこれに係る伝統技術の理解に供する。

(3) 日本刀・刀装具鑑賞会、講演会、講習会〈公2〉

①公開鑑賞会

開催回数:年3～4回(原則第1土曜日、13時半～16時)〈初回12月1日於江戸東京博物館〉

会場:江戸東京博物館他

内容:日本刀・刀装具・拵等を公開し、会員に限らず広く鑑賞して貰う機会とする。

②特別鑑賞会(日本刀研究委員会鑑賞会)

開催回数:年3～4回(14時半～16時半)

会場:目白庭園赤鳥庵他

内容:会員限定20名程度

(4) 北海道における日本刀の保存・活用総合活性化事業〈公2、3、6〉

(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)(平成24年度文化芸術振興費補助金対象)〈文化庁〉

[学芸員の為の日本刀実践人材育成事業] 平成25年3月下旬 於北海道開拓記念館

(5) 日本刀鍛錬体験教室・入門、見学会等〈公2〉

企画:イ. 初心者向鍛錬等の体験教室・体験入門(月山鍛錬道場、日本荘鍛刀所、宮入鍛刀道場他)

参加料10,000円/日(予定)

ロ. 刀の鍛錬から焼き入れまでの実演等の見学会、各職種の講演会

(時期:未定)

(6) 出張日本刀講座、手作りペーパーナイフ教室、日本刀をテーマとするイベント等企画立案・コンサルティング(講師等派遣・実演)〈公2、公3〉

(7) パリに於けるカルティエ財団の日本刀展覧会参画〈公5〉

開催2014年以降。参加に向け折衝。

(8) 第8回お守り刀展覧会(後援)〈公4〉

主催:全日本刀匠会

内容:全日本刀匠会会員製作の新作刀及び外装の審査・授賞・展覧。

後援内容:後援名義の交付、刀文協関係審査員の派遣等

## 2. 収益事業

(1) 日本刀・刀装具製作、保存・補修等の受注・受託〈収1、収2〉